

News Letter

2015年
2月

中国四国農政局
松江地域センター

次代の花振興を担う若者が学んでいます ～島根県立農林大学校（大田市）～

花き産業は、農地や農業の担い手の確保を図る上で重要な位置を占めているとともに、その国際競争力の強化が大切です。また、花きに関する伝統と文化は、国民の生活に深く浸透し、国民の心豊かな生活の実現に重要な役割を担っています。こうした状況などを踏まえ、花き産業と花き文化の振興を図るため平成26年12月1日に「花きの振興に関する法律」が施行されました。

今回は、花きの栽培技術の習得や花育などに取り組んでいる“島根県立農林大学校 農業科 花き専攻”を紹介します。

大田市にある島根県立農林大学校では、次代の島根県の農林業をリードする農業者及び森林管理技術者の養成を目的として、農業科と林業科の2年課程の教育体系を有しています。その中で、農業科の花き専攻の学生（平成26年度は、2年生4名、1年生4名、研修生1名が在籍）は、花の栽培から販売までを一貫して行う栽培技術や経営感覚の習得を目的に、主に、キク、トルコギキョウ、シクラメンなどの「島根の花」振興品目をガラス室7棟、パイプハウス6棟などの30aのほ場で管理栽培に励んでいます。



農業科の花き専攻で学んでいる学生

この花き専攻では、地域の方々に「花」に親しんで頂くとともに、主体的に学生が消費者と直接交流することにより、学生の学習意欲の向上を図ることを目的に、毎年、学生が栽培した鉢植えや切り花などの即売会を行っており、平成26年11月19日（水）に開催された「第9回シクラメン祭り」には480名の来場者がありました。

また、花き専攻の2年生が中心となり、平成23年から地元の保育園児を招き、幼少期から花や緑などに親しみ楽しんでもらうこと目的とした「花育」にも取り組んでいます。7回目となる平成26年6月17日（火）に開催された「花育」では、園児24名がハウス内での花摘みや、フラワーアレンジメントを体験し、花とのふれあいを楽しみました。指導に当たった学生にとっては、「農業へのやりがいや誇り」を感じ、「花の魅力」を再発見する体験になりました。

卒業後の学生は、主に県内にて就農又は農業関連産業に就職し、それぞれの分野において、島根の花振興を担う若きリーダーとなることが期待されます。



フラワーアレンジメントに取り組む園児の様子

「島根県立農林大学校」に関する問い合わせ先

TEL : 0854-85-7011 FAX : 0854-85-7113

<http://www.pref.shi mane. lg. jp/nori ndai gakko/>

「花きの振興に関する法律」などに関する情報（農林水産省ホームページ）

<http://www.maff.go.jp/j/sei san/kaki /fl ower/>



ふるさと元気だより

田舎暮らしや農林漁業体験ができる「今ちゃんの家」を通じた地元への貢献



「今ちゃんの家」を営んでおられる
今手喜三さん、光代さんご夫妻

島根県邑智郡邑南町にある「今ちゃんの家」は、東京からUターンした今手喜三さん、光代さんご夫婦が出身地である地元（邑南町）への貢献を目的に平成19年に始めた民泊施設で、四季の風情を楽しみながら一年を通して、田舎暮らしや各種体験を行うことができます。

当施設では、農林漁業体験を希望する小学生や観光客を年間約40名受け入れていきます。

農林漁業体験は、今手さんが栽培している約100種類の野菜・米の収穫の手伝いや、収穫したしその葉で作る「梅のしそ巻き」作りなどを楽しむことができます。また、地域内の施設では竹の

箬や水鉄砲などの竹の工芸品作り体験、夏には家の前を流れる大きな川であゆやうなぎを捕獲する体験も実施しており、参加者から好評を得ています。

さらに、食事は旬の地元食材を使った自慢料理が所狭しと豪快に並び、利用者を喜ばせています。

今出氏は、日頃の活動の様子をブログで発信しており、「地域の人達と共に、田舎と都市の交流を盛り上げながら、田舎暮らしの情報発信をさらに充実させたい」と話しており、今後、更なる活躍が期待されます。

○問い合わせ先：島根県邑智郡邑南町下口羽396-2

農家民泊 今ちゃんの家 今手喜三（連絡先：0855-87-0533）

○ブログアドレス：http://gazoo.com/my/sites/0001453571/OHNAN_MURA005/default.aspx



梅のしそ巻き作り体験

インフォメーション

環境保全型農業推進フォーラム開催のお知らせ

環境に対する関心が年々高まるなか、農業生産全体のあり方を環境保全を重視したものに転換し、農業生産活動に伴う環境への負荷の低減を図ることが求められています。

このため、環境保全型農業及び有機農業の確立を目指して意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域の農村環境保全活動に貢献している優良な事例や環境保全型農業に関する技術情報について情報を発信し、環境保全型農業及び有機農業に対する理解を深めるとともに、その取組拡大を図ることを目的にフォーラムを開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

【日時】平成27年3月2日（月）13時30分～16時30分（定員：100名 参加費：無料）

【会場】ピュアリティまきび2階千鳥の間（岡山市北区下石井2-6-41）

【主催】中国四国農政局、中国四国地域環境保全型農業・有機農業推進連絡会議

【内容】・平成26年度中国四国地域環境保全型農業推進コンクール表彰式

・環境保全型農業推進フォーラム：受賞者の記念講演、技術情報に関する講演

【申込方法】参加申込書に記載のうえ、2月25日（水）までに、FAX によりお申し込み下さい。

※参加申込書などの詳細は、下記の中国四国農政局ホームページをご覧ください。

http://www.maff.go.jp/chushi/press/se_kankyo/150128.html

【問い合わせ先】中国四国農政局生産部生産技術環境課 担当：平野、石原

電話：086-224-4511（内線2772） FAX：086-232-7225



農林業センサス 平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

○農林業経営体調査（平成26年12月中旬～平成27年2月末）

○農山村地域調査（平成27年4～6月末）

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>



編集：中国四国農政局 松江地域センター

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線536) FAX (0852)27-8858 <農政局HP><http://www.maff.go.jp/chushi/>

◆各種メールマガジンを配信中（登録はこちらから）<http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>

